







内水 氾濫が発生した場合

浸水 深さ

凡例

-  消防
-  水位観測所
-  地域気象観測所
-  警察
-  アンダーパス
- 道路が低くなっているため水がたまりやすい箇所
-  土のうステーション (R5.1 時点)

1時間先までの危険度を確認



大雨警報 (浸水害) の危険度分布

大雨警報 (浸水害) 等が発表されたときに、区内のどこで危険度が高まっているかを確認できます。



大雨のときは通行を避けましょう。

土のうステーション



どなたでも自由に土のうを取り出すことができます。

詳しくは P.35 に掲載

内水浸水予想区域図

この浸水予想区域図は、中川・綾瀬川圏域浸水予想区域図と江東内部河川流域浸水予想区域図の結果を重ね合わせたものです。

※一部修正を加えています

中川・綾瀬川圏域浸水予想区域図

作成年月日：平成 18 年 6 月 9 日

江東内部河川流域浸水予想区域図

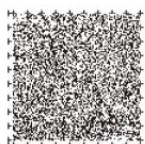
作成年月日：平成 16 年 5 月 26 日

対象降雨：平成 12 年 9 月東海豪雨 (総雨量 589mm、時間最大雨量 114mm)

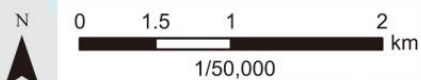
作成主体：都市型水害対策連絡会

URL <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp>

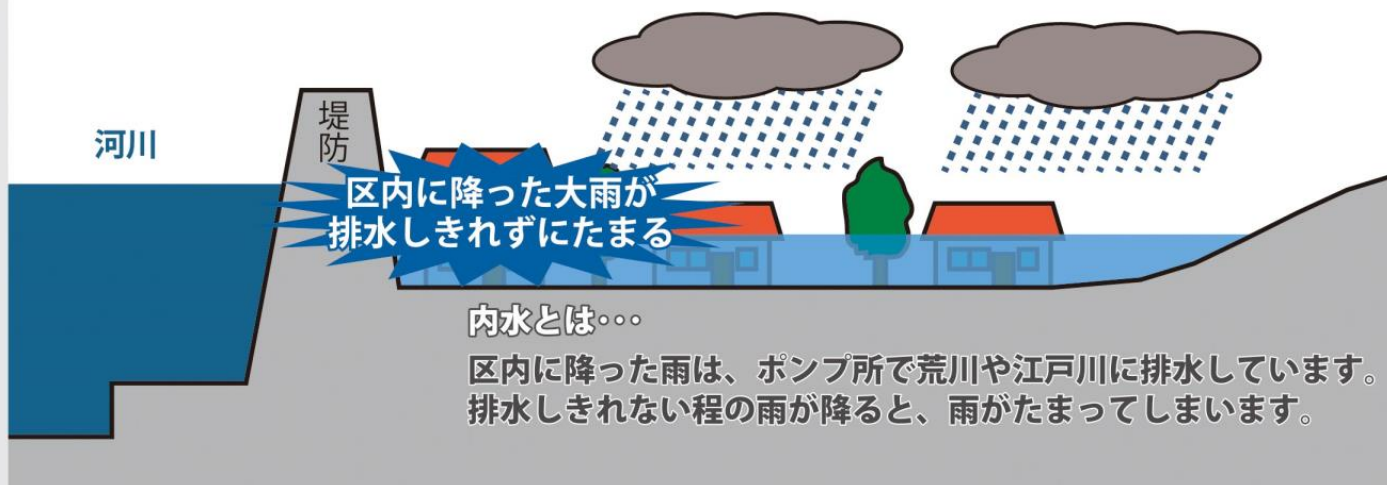
浸水深



音声コード掲載



区内に排水しきれない程の大雨が降ると浸水するおそれがあります



内水とは・・・

区内に降った雨は、ポンプ所で荒川や江戸川に排水しています。排水しきれない程の雨が降ると、雨がたまってしまいます。

大雨の中や周辺が浸水してから外に出るのは危険です

浸水のおそれが高いときには、出歩かずに屋内で待機しましょう。



身の安全を確保しましょう

水圧でドアが開かなくなり危険です。地下室や低い場所にあるドアは開けておきましょう。



川の様子を見に行くのは絶対にやめましょう

大雨のときに川の様子を見に行くと被災することがよくあります。雨が降り続いて不安に思っても様子を見に行かないでください。



家屋の浸水・家財の被害を軽減しましょう

自宅にとどまらなければいけない場合に備えて、家屋への浸水を防ぎましょう。また、水に浸かってしまった家財は一瞬にしてごみと化してしまい、水害後には区内が水害ごみであふれかえることとなります。できる限りの家財被害の軽減を図りましょう。

詳しくは
P.35
に掲載

やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

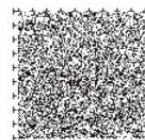
長靴や裸足は危険です。脱げにくい運動靴をはきましょう。



長い棒をつえ代わりにして、水の中の障害物に注意しましょう。



深い浸水の中を歩くと、マンホールに気付かず吸い込まれてしまう場合があります。危険です。



音声コード掲載

家屋の浸水を防ぎましょう

土のうによる水防対策



土のうステーション

区では、大雨による冠水・浸水などの被害を未然に防ぐために、どなたでも自由に土のうを取り出せる「**±土のうステーション**」を区内各所に設置しています。必要な方はそこから自ら運んで利用してください。

江戸川区公式ホームページ（土のうステーション）



https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e065/bosaiizen/bosai/jijo/n_donoustation.html



■ 簡易水防工法は、家庭にある物を使って家屋への浸水の流入を防ぐ方法です。水深が浅い段階では有効です。玄関などの出入口だけでなく、床下への浸水の防止も重要です。

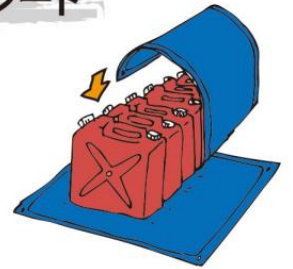
ごみ袋による簡易水のう

40リットル程度の容量のごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



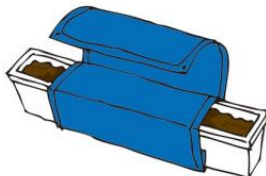
ポリタンクとレジャーシート

10リットル又は20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。



プランターとレジャーシート

土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。



止水板

長めの板などを使用し、出入口からの浸水を防ぎます。



できることから始めましょう

日頃から落葉などの掃除をして、水はけを良くしておきましょう。



家財の被害を防ぎましょう

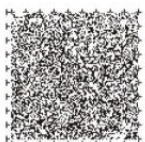
大切なものは高いところへ

通帳・保険証・パスポートなどの重要書類や、移動できる家電製品、思い出のアルバムなどは、浸水しない高い場所に移動しておきましょう。



被害を減らしましょう

大雨で下水が逆流し、トイレや排水溝から水が噴き上がることがあります。水を入れたビニール袋を便器の中に入れておいたり、排水溝の上に置いておくと、水の噴き上がりを抑えられます。



音声コード掲載